



Saint Laurent



Paul & Joe



Saint Laurent

この夏、主要デザイナーたちは、ラメやグリッター、スパンコールやサテンなどを用いてキャットウォークに輝きを添えた。前シーズンがゴールドづくしだとしたら、今回はシルバーが主役。エディ・スリマンがチーフデザイナーに就任して以来、ロックなシルエットがブランドのシグネチャーのサンローランでは、セクシーなシルバーのドレスを軽量の甲冑のようにまとい、ティアラとレインブーツでコーディネイトしたグランジのプリンセスが登場した。

セバスチャン・メイヤーとアルノー・ヴァイянによるクレージュでは、レトロフューチャーな新しいクリエイションが登場。ブランドの“眠れる森の美女”を彷彿とさせるのに最適な色であるコズミックシルバーが用いられていた。これは、クレージュのキャットウォークでの復活を印象づけただけでなく、ブランドを次の次元へと引き上げた内容だった。パリの

グラン・パレを文字通り空港へと変身させ、見事に離陸した、カールラガーフェルドによるシャネルのショーでは、銀色に発光するアクセサリーが目撃された。モンクレール ガム ルージュでは、鮮やかな色彩でロマンティックなひねりを利かせ、ジャンバティスタ ヴァリでは、花柄のドレスを纏ったモデルが、フェンシングのマスクを脇に抱えて登場した。フィリップ・プレインでは、メタリックシルバーがトータルルックで登場し、さらにメタリックなステージセットと併せて光の遊びを楽しんでいた。

このトレンドは、ポール & ジョーやイザベル マランでも見られ、スカートやショートパンツ、トラウザーのようなセパレーツピースと白いシャツやトップスとの組み合わせや、シルバーのジャケットとトラウザーの組み合わせが披露された。このトレンドは、人の目を惹き付け、どんな場面においてもシックでいるための完璧な方法を提案している。